



# 三河で文学をする、ということ

## …南吉を少し

ホテル従業員、清掃作業員、タクシー運転手など

10種以上の職業を転々とした作家の創作方法とは？

日常生活、南吉への思い、

さらに地元で「書く」ことの難しさや面白さなどを語ります。

**日時** 2021年1月10日(日) 午後2時~4時

**場所** 安城市図書情報館 (3階健康支援室・講座室)

**定員** 30人 先着順 定員になり次第締切

**対象** 一般 (高校生以上) **入場無料**

**申込** 12月14日(月) 午前9時より開始

電話・ファックス・メールのいずれかで、

氏名、電話番号を添えて、

アンフォーレ課までお申し込み下さい。

プロフィール 広小路尚祈 (ひろこうじ なおき)

1972年、愛知県岡崎市に生まれる。高校を卒業後、職業を転々とし、ホテル従業員、清掃作業員、清涼飲料メーカーのルートセールス、建築板金工事作業員、タクシー運転手、不動産業、消費者金融業など、経験した職種は十以上にのぼる。2007年、「だだな町、ぐぐななおれ」が第50回群像新人文学賞優秀作に選ばれた。2010年、「うちに帰ろう」が第143回芥川賞候補、2011年、「まちなか」が第146回芥川賞候補となる。著書に『うちに帰ろう』(文藝春秋)、『清とこの夜』(中央公論新社)、『金貸しから物書きまで』(中公文庫)などがある。現在、中日新聞にて「炊事洗濯家事おやし」連載中!

